

セトリイ

瀬戸焼のある暮らしが好きになる。



セトリイ SETOMACHI style book 05

発行 / 瀬戸焼振興協会 〒489-8701 愛知県瀬戸市追分町64-1 TEL: 0561-88-2807
E-mail: monosho@city.seto.lg.jp Web: <http://www.setoyakishinkokyoai.jp>
企画・編集 / 日笠 真理・岩田 舞海 || 写真 / カメイヒロカタ || 意匠 / studio05

せとまちパブリックアート

陶壁画

建築の一部でありながら、多くの人々の目に触れる芸術として製作される「陶壁画」。陶板に絵付けして焼いたもの、もしくはモザイク状の陶片でデザインされたものなど、建物の外観や内部壁面などをシンボリックに彩ります。瀬戸でも市役所庁舎や瀬戸市文化センターなど、公共施設各所に設置され、やきものの街らしい風景の一部となっています。

とりわけ多くの市民に親しまれ、ランドマークとなっているのが、「瀬戸市立図書館」。1970年に市制40周年を記念して建てられ、洋画家・北川民次氏(1894-1989)の最後の陶壁画作品として、外観2面、内部壁画1面の3点が製作・寄贈されました。

建物の寿命とともにある陶壁画ですが、旧・瀬戸市民会館の壁を飾っていた北川氏の作品は、2002年の取り壊しの際に一旦撤去され、のちに瀬戸蔵へと移設。メキシコで学び、瀬戸に長く暮らし、やきものや人々との身近な営みを陶で描き出した世界は、力強くもあたたかなパワーにあふれ、せとまちで育った子どもたちの「記憶の風景」として、半世紀以上も鮮やかに生き続けています。



撮影協力：瀬戸市立図書館
愛知県瀬戸市東松山町1-2 TEL:0561-82-2202 <http://www.lib.seto.aichi.jp>

淡雪 ほんわり

志野釉

—しのゆう—

長石釉が醸し出す、やわらかな乳白色。

ところどころに緋色が絶妙にあらわれ、

他の釉薬にないふくよかな景色となる。

織田信長・豊臣秀吉により茶陶が栄えた

桃山時代を代表するやきもの「志野」。

江戸時代から代々続く瀬戸の窯元では、

長石を原料とした白釉を厚めにつけて、

いまや稀少となりつつある重油窯にて

高温でじっくり焼き、ゆっくり冷ます。

無地志野、灰志野、鼠(ねずみ)志野、

奥深い味わいを持つ伝統的な意匠に加え、

パステルトーンの青志野や桃志野など、

ふっくら感を生かした新顔も新鮮です。🍵





無意識と記憶 に彩られたかたち

ReCollection series (酒井智也) / 瀬戸の米菓子「おこしもの」(米泰)

創作すること
「伝える」仕事へ。

えもほ？ままま？ギオモ？
ちいさな子供が発することば
やおノマトペのような名前を
持つ、見たこともない、いや、
あるいはいつか見たような気
さえする不思議な「やきもの」。
『OIL by 美術手帖』で開催さ
れた仮想世代陶芸展で一躍注
目され、国内外のコンペティ
ションでも多数入選・受賞、陶
作家・酒井智也はいままさに
旬！HOTな若手アーティスト
のひとり。

工芸としての陶芸を学んだ
先に、陶芸によるアートの世
界があり、それは現代美術の
潮流へもつながっていく。し
かしそうした「ものづくり」の
根幹にあるのは、「回転体へ
のあこがれ」と「生きてきた
記憶」。これらの探求によって、
独特のカラーフルでユニークな
世界が生みだされる。

「昔から回転体や回転によつ
て生まれる円錐などが好きで
したね。美術教諭をめざし入
学した名古屋芸術大学(陶芸
でも作品販売を展開。今後も
グローバルな活躍が期待され
ている。

「どこにいても世界中と繋が
れる時代。評価のされ方もと
ても自由だと感じます。一方、
結婚を機に瀬戸に暮らすよう
になりましたが、陶芸家も違
和感なく受け入れてもらえる
環境で、とても暮らしやすい
ですね」。

これからは自分の人生や記
憶だけでなく、人の思い出や
記憶にも思いを馳せた作品づ
くりに取り組んでいきたいと
語る酒井さん。昔からかわら
ぬ瀬戸の風情や景色もまた、
新たな作品の表情となってい
くに違いない。

以上の完成を目にした時の快
感。自分の才能を超えられる
可能性のある素材というところ
に魅力を感じたんです」。

無意識と意識の間に 共感が生まれる瞬間。

酒井さんの作品は、具体的な
完成モデルを設計するのでは
なく、無意識でろくろをひい
て、まずはパーツをたくさん
つくることから始まる。無意
識の中に今まで見てきたもの、
経験してきたことが投影され、
その上で意識的に組み合わせ
て作品を形作っていく。
「無意識と意識の中間に、何
か人と繋がれるような本質的
なものがあると思うんです。
ReCollection series」は、

ReCollection seriesは、



もともとは色使いが苦手だったとか。
最新作はさらにPOPに進化！



工房の棚には、ろくろでつくられた多様な
“かたち”がいくつも並ぶ。



<OIL by 美術手帖><B-OWND><BEAMS>
などアート/工芸/デザイン系オンライン
ストアでも人気。国内外にコレクターも。

酒井 智也 Tomoya Sakai

1989年愛知県西尾市生まれ。現在は瀬戸
市在住。'17・'19年「金沢・世界工芸コンペ
ティション」入選、'20年「台湾国際陶磁ビ
ェンナーレ」入選、'21年「第12回国際陶磁
器展美濃」銀賞など。

https://sakaitomoya.amebaownd.com
@s_tomoya1212

撮影協力

米泰(こめひろ)

米粉の生地を鯛や扇などの木型で成型
し、蒸した「おこしもの(おしもん)」は、
愛知県の桃の節句の郷土菓子。「昔な
がらの製法にこだわり、年間を通して
製造。自社や「道の駅しなの」等で購入
できます」と店主の相馬貴久さん。

愛知県瀬戸市上水野町141
0561-48-1767
9:00-18:00 休 土・日・祝日
http://www.komehiro.jp





赤い絵うつわ

青い絵うつわ

うつわに絵を描き、彩る。

赤呉須に緑や黄をちよんと挿して。

青海波 麻の葉 七宝 入れ子菱

小紋を纏うような古典や吉祥柄が

精緻な筆使いで鮮やかに描かれる。

施釉・焼成後に上絵付けする赤絵は

和食やエスニックなテイストを

はんなりと着飾ってくれるのです。

藍の呉須の濃淡で、

御伽噺(おとぎばなし)を描く。

鹿牛虎象猿龍花鳥に唐子と

古染付でおなじみのキャラクターも

どこかあどけなくて、ユーモラス。

染付は、施釉前の素焼き素地に

細筆で巧みに下絵付けをしていく。

旬のフルーツやサラダを盛ったり、

和菓子やマカロンもお似合いです。

絵のあるうつわは、はなやぎ上手。

手持ちのうつわも、生きてきます。



赤絵
濱島 美菜子

赤絵輪花捻り祥瑞平鉢
赤絵花輪花小鉢
赤絵菊花文箸置き

かえるお店

手しごとや阿ん
愛知県瀬戸市朝日町四七
0561-82-3591



染付
石川 理恵

染付牛文兎鉢
染付芙蓉手桃猿文鉢
染付芙蓉手牛唐子文鉢

かえるお店

Gallery もφ
愛知県瀬戸市朝日町四八・一
0561-85-8100

せとまち銭湯記

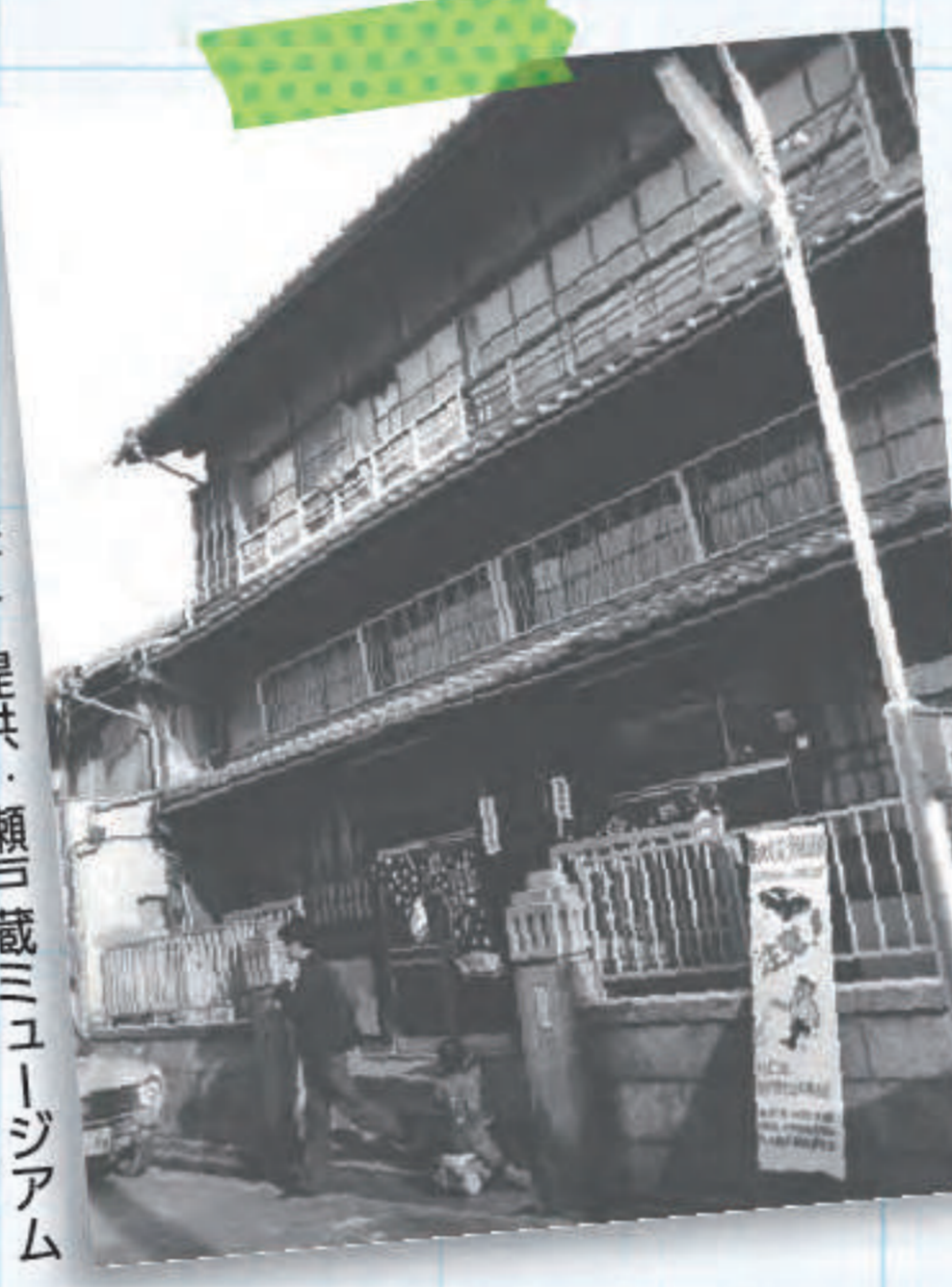
日本屈指の陶磁器産地として栄えた瀬戸市内には、多くの銭湯があったと聞きます。古くは明治創業、昭和の時代までは自宅に風呂のある家庭も少なく、長屋住まいの家庭や窯元で働く陶工、その後は下宿住まいの学生たちへと変わり、銭湯界隈は「せとまちの社交場」としてにぎわいました。

今や目にできなくなった懐かしい銭湯の風情とともに古の湯処を追ってみました。



日本鉱泉 1955年(昭和30年)当時

撮影:白井薫 / 提供:瀬戸蔵ミュージアム



撮影:大石孝 / 提供:瀬戸蔵ミュージアム

せと末広町商店街近くの『蛭子湯』(2006年廃業)をはじめ、瀬戸川に沿うように『大松湯』『こうはん温泉』ほか多数、『宝湯』『旭湯』『玉の湯』『伊香保温泉』『祖母懐湯』など、昔を知る人の記憶に残るだけでも10数軒が点在。蛭子湯など煙突が現存する銭湯跡も。

『蛭子湯』
1978年(昭和53年)当時



瀬戸は陶工、学生の街。
お風呂屋さんにはなくてはならないものでした。

by せと末広町商店街広報 喫茶「NISSIN」藤井真由美さん

#レトロ銭湯 #タイル画 #織部焼屋根瓦

銭湯と言えば、名所美景が描かれたタイル画。見事な意匠や懐かしいモザイクタイルが手入れ良く遺された『日本鉱泉』(銀杏木町)。昭和初期の開業から今日まで親しまれ続け、2021年3月に廃業。90年以上にわたる歴史の暖簾を下ろしました。



男女湯それぞれ異なる風景のタイル画。女湯には美大生による薔薇のアートワークも各所に。(本誌 P9-10 ヨセトコ茶会にて撮影)



営業当時の外観正面。小さな番台、男女更衣室から観られるTVなど、昔ながらの銭湯の佇まいがあった。入母屋の屋根は織部焼の瓦。

利用客の減少・燃料の高騰・老朽化・後継者不足などから、平成～令和にかけて多くが廃業し、現在瀬戸市内で営業している銭湯は『清水温泉』(陶原町)1軒のみ。



温泉が湧き出たと言われる「清水田」の地名に由来する『清水温泉』。創業は昭和初期で、1954年に現在のビル2階に改装。創業当時の風情を感じる外観。

昭和2年発行「大日本職業別明細図」には、当時の銭湯が多く掲載されている。



今日の一品

はらぺこ菓子店 天秤堂

素材×クリエイティブティが魅力!
瀬戸クオリティに大満足。

ケーキにする? 蒸しパン? それともパフエ? 旬の色があふれんばかり、SNSにアップされる写真を見るだけでもワクワクする、オーガニックグルテンフリーのお菓子たち。主に米粉、平飼い卵、無添加バター。無農薬や有機栽培の素材を使用、メールでオーダーできる「おやつ便」が人気です。

彫刻のように美しいおやつには、喫茶文化のルーッ香るエスニック&エレガントなティーセットで、長閑なひとときを。



珈琲焙煎と作陶の双方を究める安藤智哉さん作の喫茶ウェア。磁器にはない「やわらかな白さ」が、珈琲や紅茶の色香を引き立てます。

はらぺこ菓子店 天秤堂 [f harapeko.libra](#) [@ harapeko.libra](#)
▶ご注文はこちらから: harapeko.orderonly@gmail.com
おやつ便は月に1~2回。SNSの出店予定カレンダーでご確認を!
安藤智哉/陶珈坊 Andy [f tomoya.ando.10](#) [@ tomoya_andy](#)



ものづくりの庭から

瀬戸のまちに吹く 風を伝えるひとの ヒトコトコラム

ネット通販では出会えない「もの語り」。

手しごとや 阿ん 小塚 洋子さん

尾張瀬戸駅とせと銀座通り商店街の間に、この店を構えたのが2000年。作家さんの工房をたずねていくのが楽しくてね。若い頃の作品や試作などがあふれていて、その人のものづくりの変遷が見えますでしょう。作陶の現場で自分が体感したり、作家から直接聞いたエピソードをお客さんに話すと、とっても喜んでもらえるんです。プラス主婦目線、買い手目線で選ぶことで、お客さんとの共感や交感も生まれますしね。

買っても買わなくてもいいんです。ここへ立ち寄ってくれて、器を手にして話をしているうちに、瀬戸という街そのものをおもしろいと興味を持ち、巡ってくだされば、また違った広がりや生まれるんじゃないかと。

旅先での一期一会は本当に楽しいし、幸せなもの。だから訪れるたび新たな「出会い」がある店として、作家の息遣いを伝え続けていけたらと思います。



加藤唐三郎さん、長谷川文陽さんなど重鎮作家の信頼も厚い。小澤章子さん、梅田裕史さんなど人気作家、個性際立つ若手まで、小塚さんセレクトとディスプレイが楽しい店内。



幻想湯館

SENTO meets SETO SERAMICART

Miki Abe

Hikari Sawamura



日本鉱泉

澤村 光李
阿部 未来

ひっそりと暖簾を下ろしたその跡
 こっそりと窓の隙間から覗き見た
 かつては陶工の多くが汗を流し
 やきもののまちに暮らす
 老いも若きも赤ちゃんも寄り会った
 番台にはいつものにこやかな顔
 男湯女湯から見えるTVからは
 大相撲の一番や美空ひばりの唄声
 せつけんひとつ箱にころん
 洗面器転がりカラカラン
 タイル絵の景色と湯気の残像は
 いまむかしのパラレルな記憶
 だれか気づいていたかしら？
 ふしぎないきものたちの息遣いを



瀬戸で活動するツクリテを映像で紹介

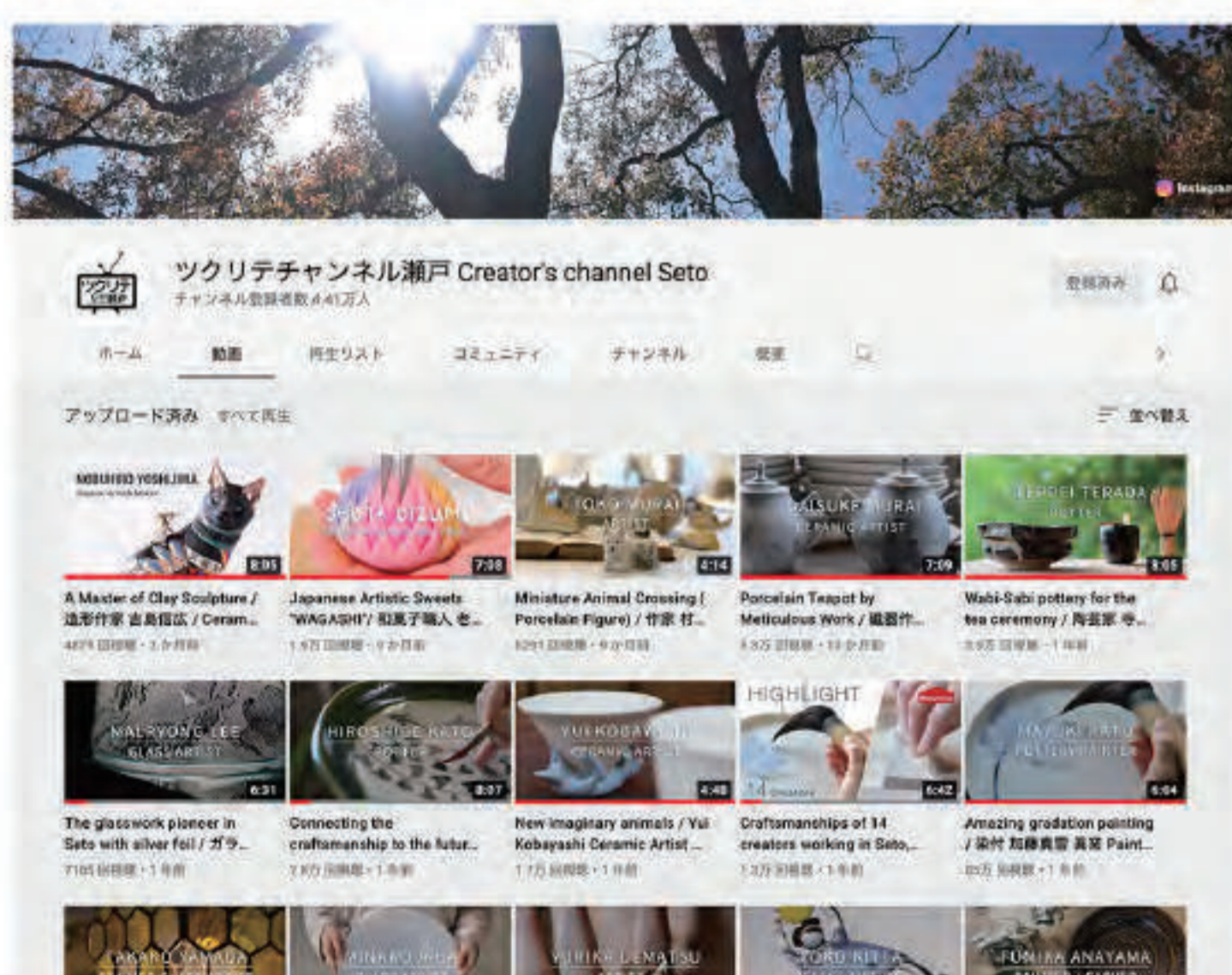
ツクリテチャンネル瀬戸 Creator's Channel Seto

やきものをはじめ、ガラス、木工、アートなどさまざまな分野の「ものづくり」に携わるツクリテが多い瀬戸。<ツクリテチャンネル瀬戸>は、その個々の日常にアプローチしながら手仕事の魅力を紹介していく映像発信プロジェクトです。

開設者は、瀬戸市内で家具工房『トリック・フォア・トリート』を営む竹本剛さん。家具制作とは別に、瀬戸のものづくりを盛り上げたい!という思いから、ビデオカメラを手に無償でツクリテのPV制作に取り組んでいます。



陶芸作家 柳本美帆さんの工房にて。その場でアングル等を決めています。



「ツクリテチャンネル瀬戸」のYouTubeホーム画面。多くの瀬戸のツクリテが紹介されています。



自作のテーブルの可動を動画で紹介。

ツクリテチャンネル瀬戸 Creator's Channel Seto

ツクリテチャンネル YouTube

モノづくりから“ひと”が見える家具職人の目線で、PVを制作。

「YouTube等の配信に興味を持ち、自作の可動式テーブルや作業風景を紹介する動画を自撮りしたことがきっかけでした。瀬戸に移住してきて数年経ち、地域の人と関わりたい、つながりを深めたいと思い、ものづくりを支援する『せとまちツクリテセンター』に登録。撮影を希望するツクリテを募集しました。」

2019年<瀬戸ツクリテの手仕事~made in Seto in 渋谷ヒカリエ>の展示に向けて、陶芸家の酒井智也さんや竹内礼さん、組子細工の山田典幸さん(玄翁屋)など数名のツクリテ映像を撮影・制作。以後毎月更新で、制作中の様子や道具へのこだわり、作家の横顔など、約5~8分にまとめ、コンスタントに配信し続けています。

つくられたもの(作品・製品)の背景にある「ひと」に映像を通して触れることで、「瀬戸っておもしろいな、素敵だな」とより多くの人に感じてもらえたら。海外にも発信したいので、あえて言葉は入れず、英語解説も添えて紹介しています。



自らもツクリテとして、より多くの人に瀬戸の魅力を伝えたい!と、ボランティアで企画・撮影する竹本さん。

家具工房 トリックフォアトリート

https://www.trick-for-treat.com trick_for_treat

MADE IN NEW SETO

瀬戸の「創り場」から発信

瀬戸焼と出会い、せとまちに親しむ。

瀬戸茶わん屋プロジェクト @ seto_chawanyamegri



テーマを決めて、有志店で食卓提案。
「尾張瀬戸駅」から瀬戸川沿いに、毎年ずらりとせともの露店が並ぶ(せともの祭)。毎年多くの人でにぎわう日本最大規模の陶磁器イベントだが、長引くコロナ禍のもと開催中止が続いている。陶器小売店が集まる地元商店街も、その影響を大きく受けてきた。「これまでは店舗間で行き来したり、何かを一緒にやろうという動きはあまりなかったんです。でもこういう時期だからこそ一致団結して、個店の個性ある器で食卓提案をしていこう」と各店に声をかけて回り、有志8店舗で立ち上げたのがこのプロジェクトです。そう語るのは、リーダーの『鐘忠陶器』水野忠輔さん。

尾張瀬戸駅から徒歩圏内で巡れる「茶わん屋」やギャラリー、飲食店やお勧めスポットを楽しいマップに。

第一弾として、「家呑み」をテーマに料理家・長尾明子さん(株式会社みのかも)とのコラボレーションを企画。まずは参加店舗の器に合うレシピを考案してもらい、盛り付けや写真の撮り方講座を開催した。各店には特集コーナーを設置し、おすすめの器を紹介。二〇二一年三月五月に「瀬戸茶わん屋めぐり」としてPRを展開していった。



毎日の食生活を豊かに、テーマに器に合うレシピや盛り付け、イメージ写真などについて発信していきます。

さらに地元飲食店ともコラボレーションし、陶器店は推しの器を、飲食店は秋の味覚を提案し、各お店で展示する企画もスタート。(せとひとめぐり)など市内の有志イベントとも連動しつつ、大きなイベントがなくても「瀬戸に來ればいつでも何かやっている」と

瀬戸茶わん屋プロジェクト
山惣陶器/ぬくもりの器
わつつ/鐘忠陶器/和洋食器
さかえ/ギャラリーもゆ
/綱貝屋 SETORE/
かめりあ/丸鍊梅村商店
(順不同)

感じてもらえるような活動をめざす。
「今まで知らなかった街の情報を、茶わん屋で共有化することで、新鮮な発見や交流が生まれ、わくわくしますね。茶わんや店主のカラーを楽しんで、瀬戸焼との出会いをもっと身近に感じてもらえたらと思います。」



店内に「おすすめ器コーディネート」をPOPやパネルなどでも紹介。

SNSも活用し、(瀬戸茶わん屋インスタLIVEリレー)としてライブ配信するなど、今までにない取り組みにもチャレンジしました。



プロジェクトリーダーの水野忠輔さん(鐘忠陶器)。

Setolier information

セトリエ | 🔍

セトリエ

- ①瀬戸+アトリエ=瀬戸のまち全体がやきもの文化を生み出すアトリエという意味。
- ②瀬戸焼の魅力を紹介するフリーペーパー。ツクリテとツカイテをゆるやかに結ぶ新しい世界を提案・発信。



瀬戸焼振興協会公式ホームページ

セトリエ全号の閲覧もできます。

瀬戸焼の歴史や種類、扱い方・器のかたちについて、わかりやすく紹介しています。また、セトリエの最新号～バックナンバーもすべて閲覧・ダウンロードできます。ぜひチェックしてみてください。

<http://www.setoyakishinkokuyokai.jp>



瀬戸焼振興協会
Seto-Yaki Sinkokuyokai

セトリエ公式 Facebook ページ

瀬戸焼の最新情報をチェック！

誌面に掲載しきれないトピックスや、各展覧会・イベント、「瀬戸焼」に関する最新情報を随時更新中。下記URLもしくは「セトリエ」でインターネット検索してご覧ください。皆さまからのコメントもお待ちしております。



<http://www.facebook.com/setolier>

主なセトリエ設置場所 > 瀬戸観光案内所（パルティセと1階）
せとまちツクリテセンター
瀬戸蔵
道の駅瀬戸しなの 他

その他の設置場所はこちらから！

<http://www.setoyakishinkokuyokai.jp/setolier.html>

日本遺産ロゴマーク



瀬戸市ロゴマーク



セトリエ動物園

とある商店街のとある店頭で、
今日もあなたをお迎えします。

いらっしやいませ！



セトリエ 定期 お届け便

セトリエの最新号を、毎号ご自宅やお店に、無料でお届けする「定期お届け便」のお申し込み受け付けをしています。ぜひセトリエ本誌を手にとってご覧ください。

- 冊子も送料も無料でお届けします。
 - 定期読者にイベントのご案内等をお知らせします。
- ※ このサービスとは別にセトリエを設置または配布していただけるお店や施設も、随時募集中です。瀬戸焼振興協会までご連絡ください。

瀬戸焼振興協会
公式ホームページから
お申し込みください。



木工ろくろ

二〇二一年にせと末広町商店街に移転オープンした体験アトリエにて、瀬戸の木を材料にしたボールペンづくりを体験！指導は木工職人「わたり工房」の渡辺啓範さん。

まずは作りたい形・金具（金・銀）・カラーを選び、書き心地などもチェック。サンプルをお手本に、木工ろくろ（旋盤機）を高速回転させながら軸となるパーツに刃物を当てて削り、握る部分の太さや形を整えていきます。次に「スキューチゼル」という刃物で面を薄く削り出し、さらに紙やすりで表面を滑らかに。専用ウエスを使って塗装し、芯を入れて調節。金具、クリップなどパーツを組み上げ、完成です。



瀬戸の森を守るために伐採したどんぐりの木を活用。



「すくい」という刃物を当て、水平に保ち左右に動かしながら削り出す。



角を丁寧に落としながら、思い描く曲線へと仕上げていく。

保護メガネ

軸の形と色を
たくさん見本から
選びます！



わたり工房「体験工房つくるば」

愛知県瀬戸市末広町3-9 せと末広町商店街内

体験ご予約はネット予約（メールフォーム）・お電話で

<http://watarikoubou.com/thinboku>

050-5436-4863

- ＜受付＞ 11:00～17:00
- お一人 30～40分程度
- 3,000円（材料費含む）



世界でたったひとつの
マイボールペン！

アトリエギフト

おうちじかんの癒しポット

多肉植物・苔玉鉢



部屋にひとつ、ふたつ、いくつかあっても愛らしい。おうちじかんが楽しくなって“癒される”と人気、サボテンなど多肉植物や苔玉、ミニ盆栽。市販のキットも多く見かけますが、インテリアだけにやっぱり「器」にこだわりたいところ。

国の伝統的工芸品「赤津焼」は、織部・黄瀬戸・御深井など多彩な釉薬が特徴。伝統工芸士作の小ぶりの鉢（底穴付）に生け込むと、ちょっと格上げなギフトになります。



〒413 押戸窯 稲山陶苑

愛知県瀬戸市赤津町135

0561-82-4844

ギャラリー／直販あり

※事前にお電話にてお問い合わせください。

奥から「三彩」「織部」「御深井」と、
国の伝統的工芸品「赤津焼」の植木鉢。